

米国情報技術セクターの投資環境について

1-3月期決算発表を受けた市場動向と今後の見通し

2014年5月9日

情報提供資料

<米国株式市場の動向>

■雇用統計やISM製造業景況感指数などマクロ経済指標は米国経済のモメンタム加速を示すなかで、米国株式市場は4月2日に年初来高値を付けた後、レンジ内で推移しています。一方、ナスダック市場は、3月5日の年初来高値から6.7%下落するなど、軽い調整局面にあります。

■ナスダック市場の調整幅が相対的に大きくなった背景は、一部のネット関連やバイオテクノロジー関連で、バリュエーションの調整が起こったためです。ネット関連では、ロックアップ期間終了後の需給悪化が懸念されたツイッター、決算発表で4-6月期ガイダンスが市場予想に若干届かなかったグルーポンやリンクトインなど、一部の高バリュエーション銘柄が個別にネガティブな材料に反応する形で、大きな株価調整となりました。

<1-3月期決算発表>

■年初の寒波の影響が去り、米マクロ経済は足元再び加速してきたなか、ミクロの個別企業のファンダメンタルズも総じて堅調に推移しています。5月8日時点でS&P500の89%の企業が1-3月期決算発表を終えましたが、68%の企業が事前の市場予想を上回る利益となりました。なかでもITセクターは、80%の企業が市場予想を上回るなど、ファンダメンタルズの好調さが際立っています(出所:ブルームバーグ)。

■ITセクターを代表するアップルの決算では、日本や中国におけるiPhone販売が事前の市場予想を大きく上回り、同時に発表された新たな株主還元策と共に市場にサプライズを与えました。4月23日の決算発表以降、同社の株価は12.9%上昇しています。ITセクター全体としては、一部の高バリュエーション企業の株価調整はあったものの、米株式市場全体と概ね変わらない形で推移している格好です。

<今後の見通し>

■マクロ景況感の改善に伴い、米企業のIT投資が回復に向かうなか、ITセクターのファンダメンタルズは総じて拡大局面にあります。バリュエーションでも、ITセクター全体でみれば過去平均PERを8%下回る割安な水準にあります。しばらくの間、一部の高バリュエーション銘柄では引き続き神経質な展開が続く可能性もあるものの、ファンダメンタルズが良好でバリュエーションの魅力的な銘柄に関しては、足元の軟調な局面は魅力的な投資機会になると考えられます。

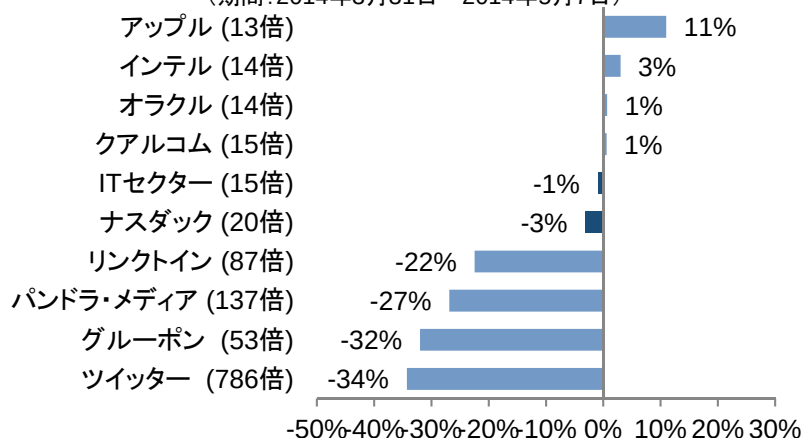
米国 主要株価指数とITセクターの推移

(期間: 2013年6月30日～2014年5月7日)

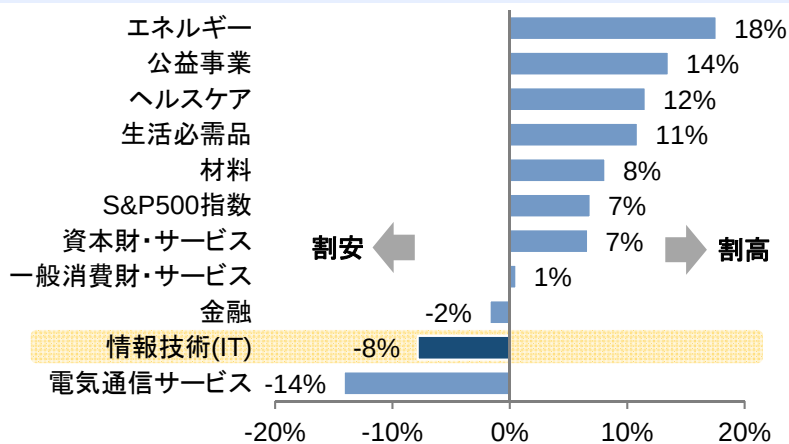


3月末以降 IT/ネット企業の株価騰落率とPER

(期間: 2014年3月31日～2014年5月7日)



セクター別 過去平均PERに対する現PERの乖離率



本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)(が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社において入手した信頼できるとされる資料に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。本資料に記載された個別の銘柄・企業については、あくまでも例示をもって理解を深めていただくためのものであり、いかなる個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等の行為を推奨するものではありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。© 2014 Goldman Sachs. All rights reserved. <128432.OTHER.OTU>

Goldman Sachs

Asset Management